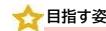


令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 101-103 ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	30 行財政運営の最適化



行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。



施策の主な取り組み

③ 公有財産の維持管理及び活用

「公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の平準化を図り、良質で持続可能な公共施設サービスを提供します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	公有財産維持管理事業	施設の安全性や機能性を保つため、定期点検や修理工事等の維持管理業務を実施します。また、「公共施設等総合管理計画」を更新するとともに、個別施設計画の策定・改訂を進み、計画に基づいた適切な維持管理を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
個別施設計画策定数	件	個別施設計画を策定した施設類型数(平成30年度からの累計)	11	13	15	15

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年末予)	目標達成度 (R6年度比)	
14	14	14	14	100.0%	総務部 管財課

■実施する主な事業の評価

■■■ 施策の方向性(改善策)

施策の方向性(改善内容)	次年度の方向性
<p>第5次香芝市総合計画中期基本計画の進捗管理に当たっては、各所管における事業の進捗と評価指標等から実績的把握できる仕組みを構築するとともに、行政評価の手法を再考し、より合理性な効果を生み出すよう検討を行う。</p> <p>-R7年度から公共施設の相互利用基準運用の開始にあたり、検討会において、協定書内容について検討を行う。</p>	

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	1 事業	拡充	1 事業	拡大	0 事業
B	1 事業	現状維持	1 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 104-105 ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	31 歳入の確保と財源の創出



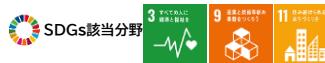
■ 施策の主な取り組み

① 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上

公平・公正の観点から市税の適正課税を推進することにより、市民の信頼及び税収の確保を図ります。また、納付環境の利便性向上および納付意欲の向上に向けた取り組みを推進することにより、市税や保険料の納収(徴収)率の向上を図ります。

■実施する主な事業

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。



。また、納付環境の利便性や保険料の収納(徴収)

九、(株)東洋紡織(本社)(現年分)の実績と因縁を。 ①-2 自主納付推進事業(保険料) ①-3 市民税・固定資産税の課税適正化事業	九、(株)東洋紡織(本社)(現年分)の実績と因縁を。 ①-2 自主納付推進事業(保険料) ①-3 市民税・固定資産税の課税適正化事業			
	指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当月 (R1)
	市税収納率(現年分)	%	収納額/収納すべき額	99.05 99.1 99.2 99.3
国保料収納率(現年分)	%	収納額/収納すべき額	93.24 95.0 95.8 96.6	

替りコピー納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境をすることで、時間や場所に縛られない納付方法を提供し、納入意欲の向上を図ります。	—
実地調査及び関係官署等への照会などを通じて、賦課の公平化・適正化に継続的に取組みます。	—

③ 財産調査の強化と適正な債務管理

② 財産調査の徹底により、適正な債権管理を推進します。

■実施する主な事業

No.	名称
②-1	滞納整理適正化事業(税)
②-2	滞納整理適正化事業(保険料)

概要	総合戦略
や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執などを適正に行います。	—
や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執などを適正に行います。	—

③ 自主財源の確保

本市への寄附を促進し、財源の確保を図ります。また、受益者負担の適正化やネーミングライツ、企業版ふるさと納税、未利用公有地の活用などの新たな財源確保策を検討します。

■実施する主な事業	
No.	名称
③-1	ふるさと寄附金事業

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
-0.05	4.8	—	9.9	206.3%	総務部 税収課
概要					
品の発送・企画によるふるさと納税返礼品の拡充を図り、サイト掲載ページの充実や市外活動を通して、本市への寄附を促進することにより、本市の魅力を発信します。					
前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
6,010	7,000	2,369	6,286	89.8%	市民環境部

■ 実験による吉澤の評価

No	事業名	今年度の事
----	-----	-------

備

今後の方向性

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
		拡充	事業	拡大	事業
A	5 事業				
B	1 事業		事業		現状維持
C	0 事業	縮小	事業	縮小	0 事業
		休止	事業	休止	事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 106-108ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	32 情報とICTの利活用

★ 目指す姿

ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。



■ 施策の主な取り組み

① 市政情報の提供と広報力の強化

市のホームページにおけるアクセシビリティの確保やオープンデータの充実などにより、利用しやすい市政情報の提供に努めます。また、さまざまな情報媒体の活用や効果的な表現による情報発信を積極的に行い、市内外への発信力を強化することで、市のイメージや知名度の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合判断
①-1	広報紙発行事業	市民への情報発信媒体として、市政情報や市民のニーズに応じた適切で分かりやすい情報の提供を行い、市の魅力を発信します。	—
①-2	広報及び報道機関連携事業	SNS及びメディアの活用、報道機関への情報提供により、市政情報及び本市の魅力を市内外へ広く発信します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	(R6)	(R10)	(R14)	
市ホームページ「広報」平均アクセス数	件	市ホームページ「広報紙」ページの一月当たりの平均アクセス数	770	960	1,150	1,340				
SNSのフォロワー数	人	本市が利用するSNSのフォロワー数の合計	284	560	840	1120				
オープンデータ公開数	件	オープンデータとして公開されているデータ数	0	5	10	14				

前年度実績値 (R5)	目標値 (9月末)	今年度の進捗			担当所管
		実績値 (年末)	目標達成度 (R6年度比)		
1,082	960	1,079	1,113	115.9%	市長公室 秘書広報課
484	560	491	495	88.4%	市長公室 秘書広報課
19	21	19	20	95.2%	総務部 総務情報課

② ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上

Society5.0に対応し、さまざまな行政課題の解決に積極的にAIなどのICTを活用し、業務の効率化および利便性の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合判断
②-1	ICT活用事業	行政事務や市民サービス等に積極的にICTを利用することで、業務の効率化や市民の利便性の向上を促進します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	(R6)	(R10)	(R14)	
電子申請・施設予約利用件数	件	奈良電子生活共同体共同運営ポータルサイト「e古都なら」による電子申請・施設予約件数	1,423	2,700	3,000	3,300				
AIチャットボット利用件数	件	AIチャットボットの利用件数	0	19,000	20,000	21,000				

前年度実績値 (R5)	目標値 (9月末)	今年度の進捗			担当所管
		実績値 (年末)	目標達成度 (R6年度比)		
15,384	15,000	5,600	13,645	91.0%	総務部 総務情報課
12,799	15,000	6,271	14,366	95.8%	総務部 総務情報課

③ 情報セキュリティの確保

ICTを利用した市民サービスや組織内利用システムの安定的な運用のため、組織内の情報機器を不正アクセスやコンピュータウイルス等の脅威から守り、情報ネットワークや職員の使用する情報端末のセキュリティを確保します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合判断
③-1	情報セキュリティ対策事業	情報セキュリティに対する職員研修の実施やセキュリティ対策システムの導入および維持管理などを実施します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	(R6)	(R10)	(R14)	
セキュリティインシデント件数	件	セキュリティインシデント発生件数	0	0	0	0				

前年度実績値 (R5)	目標値 (9月末)	今年度の進捗			担当所管
		実績値 (年末)	目標達成度 (R6年度比)		
8	0	5	7	0.0%	総務部 総務情報課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 所管判定		今後の方向性(改善策)	
				必要性 コストの方向性	有効性 コストの方向性		
①-1	広報紙発行事業	【実績】 ・非常に多くの記事を毎月発行してきました。 ・広報紙は他の特集記事成に加えて、担当課と密接に連携しながら取材・紙面編集を行っており、市民にとって有益な情報の発信に努めています。 【課題】 ・次年度からの月1回の発行、広報紙のカラーナビゲーションを定めた。 【課題】 ・年内の予定では、広報紙の発行回数を増やす方針を立てました。 ・広報紙の電子化の普及を行い、ペーパーレス化に向けた検討を行います。	A	69	拡充	【実績の方向性】 ・より豊富な内容を作成するために、市民が喜んでいただける情報を掲載する。 【コストの方向性】 ・情報収集に力を入れ、内部の充実をより図っています。	市長公室 秘書広報課
①-2	広報及び報道機関連携事業	【実績】 ・毎年、平均10件のLINE投稿による情報発信を行った。(12か月で123件) ・毎年、平均5件の各種報道機関への情報提供を行った。(12か月で58件) ・情報掲載の回数に向け、一方的な情報提供のではなく、記者の方に取材に来てもらい、より多くの情報発信を図りました。 【課題】 ・電子申請の普及を図るために、AIチャットボットの利便性の向上。 ・情報発信に対する市民の反響を高めるため、情報発信の頻度を増やす。 ・情報発信の幅を広げ、より多くの市民に情報発信をされるよう、情報発信能力の向上。	A	80	拡充	【実績の方向性】 ・市長の魅力が市外への発信が本市の課題である。 【コストの方向性】 ・多くの新しい媒体で情報発信を行っていく予定である。	市長公室 秘書広報課
②-1	ICT活用事業	【実績】 ・電子申請について、令和5年度に引き続き高い利用率を維持しました。 ・AIチャットボットについても安定して利用を維持しました。 ・令和5年2月より書類がない窓口での受付を開始しました。 【課題】 ・電子申請は高い利用率を維持しているが、アカウント登録申請といった簡単な申請が多く、窓口に来なければできない手続きはまだ多い状況にある。 ・AIチャットボットについても、アカウント登録申請ができない場合は、サービス継続可否の検討が必要。	A	80	現状維持	【実績の方向性】 ・電子申請サービスについて安定して高い利用率を維持しており、現状維持が妥当と判断されました。 【コストの方向性】 ・AIチャットボットの正答率に課題があり、正答率向上の方法を検討していく。	総務部 総務情報課
③-1	情報セキュリティ対策事業	【実績】 ・新規受け、全職員向け、マイナンバー事務従事者向け等、多様な情報セキュリティ研修を実施しました。 ・様々な脅威に対応できるよう、香芝市情報セキュリティポリシーの改正を行った。 【課題】 ・セキュリティインシデント件数について目標値を下回った。 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。	B	100	現状維持	【実績の方向性】 ・生息インシデントはいずれも人的要因に起因するものであり、意識の向上による対策を継続する。 【コストの方向性】 ・生息インシデントはいずれも人的要因によるものであることから、コストの拡大よりも、事務フローの見直しや研修等、人的努力を重視していく方が優先であると判断されました。	総務部 総務情報課
				64	現状維持	【実績の方向性】 ・生息インシデントはいずれも人的要因によるものであることから、コストの拡大よりも、事務フローの見直しや研修等、人的努力を重視していく方が優先であると判断されました。	
				100	現状維持	【実績の方向性】 ・生息インシデントはいずれも人的要因によるものであることから、コストの拡大よりも、事務フローの見直しや研修等、人的努力を重視していく方が優先であると判断されました。	

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	3 事業	2 事業	2 事業	2 事業	2 事業
B	1 事業	2 事業	2 事業	2 事業	2 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

次年度の方向性
・前年度に実施した広報紙に関するアンケート結果をもとに、各年代における市政情報の入手方法やニーズなどを把握し、広報紙の発行回数の変更を行う。また、多くのかたの市政への関心を高めるため、以南より、情報発信のツールとして活用しているLINEに加え、令和6年度から開始した「X(旧Twitter)」や、YouTubeによる動画の配信を行なうなど、様々なメディア媒体で市の情報を積極的に発信し、「訪れて」「お問い合わせ」「つながる」の3軸で情報発信にこだわっている。 ・香芝市DX推進計画に基づき、基幹情報システムの標準化を進めることにより行政の効率化に寄与する取り組みを進める。 ・引き続き、情報セキュリティを維持するための施策を調査するとともに、職員研修によりセキュリティ意識の向上を図っていく。

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 109-111 ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	33 行政組織の活性化・組織力の強化

★ 目指す姿

付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。



■ 施策の主な取り組み

① 適正な人事評価

評価基準を充実させ評価者に依存しない評価と昇任等へ反映できる制度を確立し、職員の育成と士気高揚を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人事評価適正化事業	評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
			R6	R10	R14	
人事評価アンケート調査満足度	%	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」と回答した人数／全回答者数(市職員対象)	—	70	80	90

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
—	70	0	-	—	市長公室 人事課

② 職員研修の推進

タイムマネジメントやリスクマネジメントの他、法律的素養及び接遇力の向上に重点をおことともに、時勢に応じて求められる能力の向上に資する研修を実施します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	研修推進事業	個々の職員への重要と思う内容や分野の調査を踏まえた上で、より効果的な研修を企画・実施するとともに、その必要となる研修の回数・内容の拡充を図ります。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
			R6	R10	R14	
研修実施回数	回	人事課主催の研修実施回数	10	11	12	12

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
—	12	12	3	10	83.3%

③ 効果的な人員配置

各法令等の制定・改正・廃止等や社会動向を踏まえた上で必要な人員を見定め、正規職員のみならず、各種人の資源を活用し、より効果的・効率的な人員配置を目指します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	超過勤務時間削減推進事業	超過勤務の実態把握に努め、適宜、適切なるよう人員の配置を見直します。	—
③-2	ヒアリング調査事業	本人またはその上司・同僚等から職員の不調につながる事案の通报があった場合に、必要とする場合に家人を含む関係へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不調因子の改善、その発生の防止を図ります。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
			R6	R10	R14	
超過勤務時間数	時間	選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	38,000	37,240	36,100	34,200
メンタルヘルス不調者数	人	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数	7	5	3	0

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
64,713	37,240	30,186	65,002	25.5%	市長公室 人事課
13	5	14	23	-800.0%	市長公室 人事課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性			担当所管
			3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1	人事評価適正化事業	【実績】 ・人事評価の目的(職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等)及び公正性の確保の重要性について、文書により全職員に周知を図った。 ・人事評価の目的(職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等)及び公正性の確保の重要性について、全職員に継続して周知を図る。 【課題】 ・評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に反映させるべく制度を洗練する必要がある。	85	現状維持	【成長の方向性】 ・人事評価の目的(職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等)及び公正性の確保の重要性について、全職員に継続して周知を図る必要がある。	市長公室 人事課
②-1	研修推進事業	【実績】 ・次年度昇任試験候補者を対象に、法務能力の向上を目的とした研修(行政法、民法等)を7回実施した。 ・職員の業務能力や法務能力等の向上を目指し、研究計画に基づき研修を実施していくとともに、研修後に知識の定着度を確認するための効果検証や試験を行つ。 【課題】 ・研修受講者の割合に偏りがあり、職員が等しく研修を受けられる機会を設ける必要がある。	80	拡充	【成長の方向性】 職員の法務能力等の向上を目指し、法務研修を企画・実施するとともに、その他必要な研修(行政法、民法等)を実施する。また、必要な研修を実施するための制度を整備する。 【課題】 ・今後の研修内容の検討のためのアンケートの実施についても検討する必要がある。 ・コストの方向性 -現状を維持したまま、手法を改めることで効果の向上を図る。	市長公室 人事課
③-1	超過勤務時間削減推進事業	【実績】 ・1月あたりの超過勤務時間数が80時間を超える職員に定期的にヒアリングを行つ。 ・定期的に行方不明(市役所:水曜日・総合福祉センター:木曜日)の徹底を図るため、原則として勤務時間が終了した30分経過後には各自の端末が自動的にシャットダウンする設定とし、全勤行的な時間外勤務縮減の意識付けを図る。	85	現状維持	【成長の方向性】 超過勤務時間の多い職員や所属に周知して積極的にヒアリングを行うとともに、長時間勤務による健康被害の発生防止を図る必要がある。	市長公室 人事課
③-2	ヒアリング調査事業	【実績】 ・ストレス者に対する面談を行つた。(人事課2名、産業医5名) ・超過勤務時間が長時間となっている職員へのヒアリングを行つた。(延べ9名) 【課題】 ・職員の自動的なシャットダウンに関する検討が必要である。 ・高ストレス状態であると判断される職員が増加傾向にある。	85	現状維持	【成長の方向性】 精神面での健康問題に伴う休職者が引き続き多い傾向にあることから、健康相談室や共済組合が実施する事業の周知を継続する必要がある。	市長公室 人事課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	担当課評価	成績の方向性			コストの方向性	
		A	0 事業	B	1 事業	
		現状維持	3 事業	現状維持	4 事業	
		縮小	0 事業	縮小	0 事業	
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業	